

平成14年8月15日
生産局畜産部

「牛肉在庫緊急保管対策事業」における保管対象牛肉の検品の状況について
(第7報)

保管対象牛肉の検品状況は、次のとおりです。

1 進捗状況

7月31日現在、86カ所の営業倉庫において、保管対象牛肉4,368ロットについて検品を実施中である。

期 間	検品実施倉庫数	検品実施ロット数
2月8日～ 7月31日	86 倉庫	4,368 ロット

2 検品結果

これまでの検品の結果により、保管対策事業の対象として適正と判定された牛肉は、5,881t、補助対象から除外する牛肉は8tとなった。

期 間	適正重量・箱数	補助対象除外重量・箱数
2月8日～ 7月31日	5,886 t 400,540箱	8 t 813箱

(参考1)

対象倉庫数 259倉庫(45都道府県)
対象ロット数 22,306ロット(915,952箱)

(参考2)

日本ハム・ソーセージ工業協同組合から事業参加申請取り下げのあった9社、7.8トン分については、日本ハム(株)に係る焼却された隔離牛肉1.3トンを含め、「補助対象除外数量・箱数」には含まれていない。

問い合わせ先
農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課
食肉調整官 伊藤 剛嗣
TEL 03-3502-8111
TEL 03-3501-3776(直通)
担当：春名、戸高(内線 3968、3965)

(別 添)

検品実施の結果、補助対象除外となった重量及び箱の内訳

期 間	全国農業 協同組合 連 合 会	全 国 酪 農業協同 組 合 連 合 会	全国開拓 農業協同 組 合 連 合 会	全国畜産 農業協同 組 合 連 合 会	日本ハム ・ソーセ ージ工業 協同組合	全国食肉 事業協同 組 合 連 合 会
2月 8日 ～ 7月 31日	213箱 2.7 t	— —	— —	— —	85箱 1.1 t	515箱 3.7 t
7月 1日 ～ 7月 31日	— —	— —	— —	— —	— —	72箱 0.4 t
除 外 理 由	—	—	—	—	—	①、②
今 回 補 助 対 象 除 外 と な っ た 主 な 理 由	<p>① 形状に問題（骨付き部分肉）（注1）⇒ 72箱、419.49kg</p> <p>② 外表示重量と内容物重量が相違（注2）⇒（1箱）、5.8kg</p> <p>（注1）骨以外は補助対象として適格であり、骨の重量を補助対象から除外 （注2）内容物は補助対象として適格であり、外表示重量と内容物重量の差について補助対象から除外（箱については、①と重複）</p>					
今 回 の 補 助 対 象 除 外 発 生 の 主 な 原 因 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短期間で事業を推進する必要があったことから、事業の趣旨・対象要件等についての周知徹底が不十分。また、末端の事業参加者（業者）の理解が不十分 ・ 短期間で事業を実施する必要があったため、事業実施主体の買い入れ時における、現物確認等個別内容の確認が困難 <p>※いずれの事例についても、内容物の詰め替え、ラベルの貼り替え、書類の改ざん等の意図的な作為は認められなかった。</p>					